

2016年3月7日

日本共産党 杉並区議団 殿

連絡先：00-0000-0000

住所：杉並区××××-×-×

〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇

性的マイノリティに対する差別解消を求める要望書

平素より杉並区民の福祉向上のためにご尽力くださる議員の皆さまに感謝申し上げます。

2016年2月15日に開催されました杉並区議会第1回定例会本会議にて、小林ゆみ議員が行った「性的マイノリティについて」と題する一般質問のなかで、性的マイノリティに対し侮蔑的な表現を用いながら性的指向を個人的趣味と断言し、同性愛者への支援に公的資金を使う必要はないと、逆に差別を助長させる旨の発言がありました。

この発言は、法制度上の困難の解消、誤解や偏見から発生する差別の解消を求めている性的マイノリティ当事者にとって大きな衝撃を与え、少なくない数の当事者の心を傷つけました。

東京新聞では「当事者から批判『理解不足』、差別解消に逆行」と報道され、日本の英字新聞である The Japan Times でも「Tokyo lawmaker says being gay is matter of 'personal taste,' does not merit taxpayer support」と取り上げられており、インターネット上では小林ゆみ議員の差別発言や誤解、偏見に対し当事者や乙武洋匡氏など著名人から怒りの声が上がっております。

この度、性的マイノリティ当事者として、小林ゆみ議員と所属会派である自民・無所属・維新クラブ幹事長佐々木浩議員に対し、事実を反した発言内容について訂正と謝罪を求め抗議文を提出いたしました。

つきましては、提出した抗議文及び、一般質問の問題点をまとめた文章の写しをお渡しいたしますので、貴会派の議員の皆さまと情報共有いただき、性的マイノリティに対する誤解、偏見の払しょくと差別解消に向けてご助力いただきたく要望いたします。

[添付文書] (計8頁)

1. 小林ゆみ議員の一般質問に対する抗議
2. 小林ゆみ議員の一般質問での事実誤認点、及び問題点
3. 小林ゆみ議員の一般質問と答弁

以上